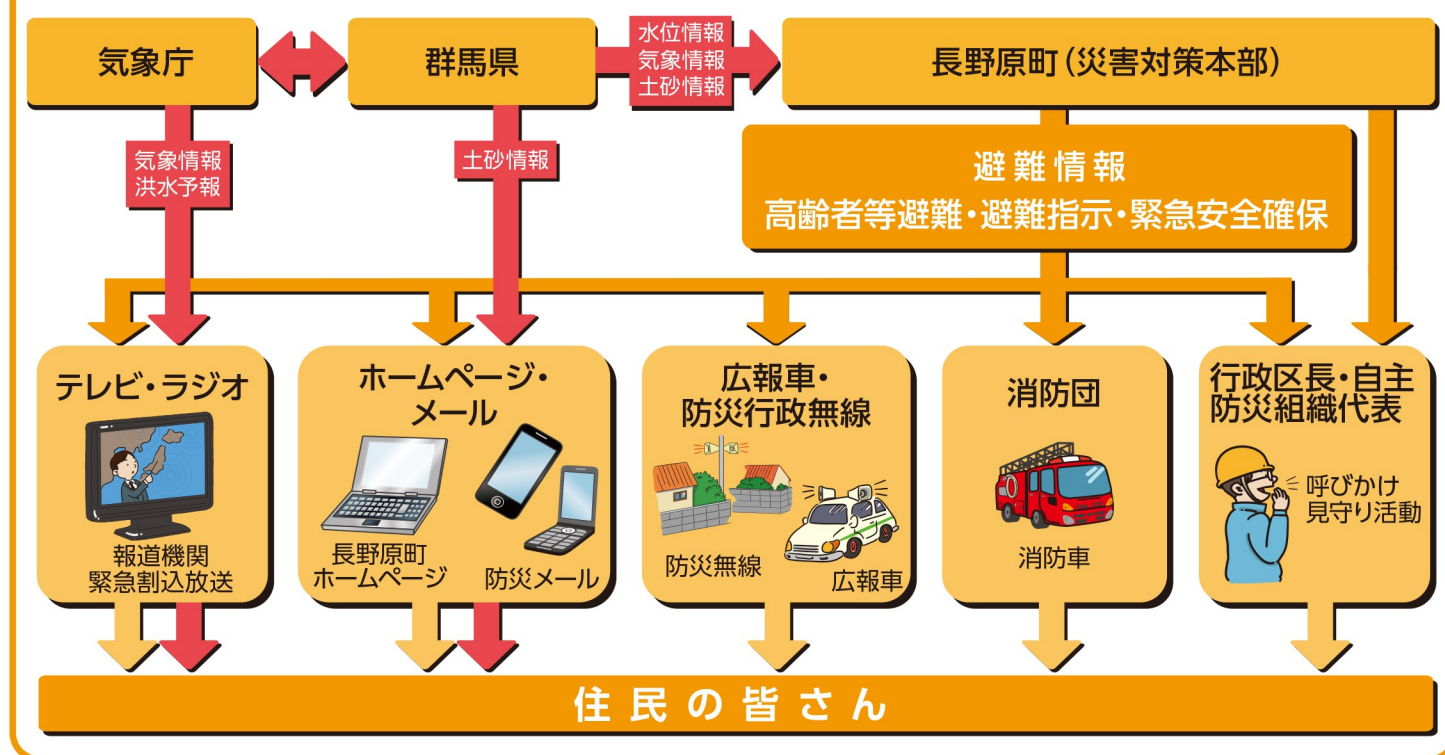


災害時の情報伝達

▼住民への伝達方法



▼「全国瞬時警報システム(J-ALERT)」について

噴火警報や緊急地震速報、弾道ミサイル情報といった対処に時間的余裕のない事態が発生した場合に国が人工衛星を用いて情報を発信し、防災行政無線で直接住民に伝達するシステムです。

▼「登録制メール」に登録を!

防災行政無線で放送する町からののお知らせをメール配信しています。登録料・情報料は無料となっておりますので、ご活用ください。

1. 登録二次元コードにアクセスし空メールを送信して下さい。「naganohara@pasmail.jp」
2. 空メール送信後、およそ5分以内にメールが返信されます。
3. メール本文に記載されているhttpsから始まるURLを押し、インターネットに接続して下さい。
4. 「利用同意書」の内容を確認し、「同意する」を押して下さい。
5. 登録完了メールが届いたら登録完了です。



◆情報を集めましょう◆

▼テレビ

- ①リモコンのdボタンを押す
- ②「防災・生活情報」を選択する



▼群馬県

水位雨量情報システム

群馬県内の雨量・水位・ダム情報など



▼気象庁

防災情報、天気、キキクル(危険度分布)、大雨・大雪、地震・火山情報など



▼川の防災情報

カメラ画像、河川の観測水位、水位予測など



▼防災情報提供センター

リアルタイム雨量、リアルタイムレーダーなど



自宅にとどまった場合の備え

自宅で避難生活を送る場合、まずは **水・食料・トイレ** の備えが必要です。

水 飲料水の備え

1人1日3リットルを目安に最低3日分、できれば7日分用意しておきましょう

必要な備蓄量を計算してみましょう

$$3 \text{ リットル} \times \boxed{\text{家族の人数}} \times 7 \text{ 日分} = \boxed{\text{必要な量}} \text{ リットル}$$

食料 食料の備え



日常の備え

- (1) 食材を少し多めに買い置きしておき、合わせてレトルト食品や缶詰なども買い置きしておきます(7日分以上)
- (2) レトルト食品や缶詰は古いものから定期的に食べましょう
- (3) 食べた分を補充して(1)に戻る

災害時

- (1) 停電した場合は冷蔵庫にある食料をクーラーボックスに移す
- (2) 傷みややすいもの、要冷蔵のものを優先して食べましょう
- (3) 普段から備えておいたレトルト食品や缶詰などを食べましょう

トイレ

災害時のトイレ対策



携帯トイレは1人1日5枚程度使うと想定して7日分ほど用意

$$5 \text{ 回} \times \boxed{\text{家族の人数}} \times 7 \text{ 日分} = \boxed{\text{必要な数}} \text{ 枚}$$

家財被害対策

家庭にある物を使って家屋への浸水や流入を防ぐ方法(簡易水防工法)は、水深が浅い段階では有効です。

浸水を防ぐ!

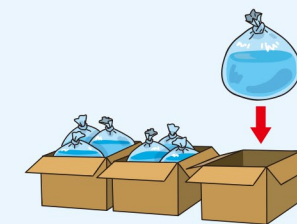
■ゴミ袋による簡易水のう

ゴミ袋などの大きめ(45リットル程度)のビニール袋を二重、三重に重ね、半分(20リットル程度)ぐらいの水を入れ、口をきつく縛る。



■簡易水のうと段ボール等との併用

簡易水のうを段ボール箱に入れて連結させれば強度が増し、水のうを積み重ねることもできます。



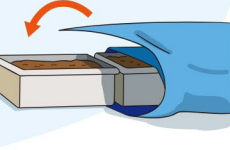
■止水板

長い板、鉄板、畳、テーブル、ロッカーなどを出入口に設置します。



■プランター

土を入れたプランターをレジャーシートで巻き込んで使用します。



水のうで逆流防止

豪雨のときなど、急激な水位の上昇により下水管が満水の状態となると、下水が逆流し、トイレや風呂場、洗濯機の排水口などから、水が吹き出ることがあります。そのようなときは、ビニール袋に水を入れた「水のう」を置くと、逆流を抑える効果があります。

